



ほろた市

議会だよ！

平成23年4月30日発行

No.23



平成23年3月定例会

- 平成23年第1回定例会 主な質疑／審議結果／施政方針…………… P2～3
- 平成23年度施政方針主な質疑…………… P4
- 平成23年度一般会計予算／23年度当初予算について／Q&A…………… P5
- ここが聞きたい!** 一般質問…………… P6～12
- 東日本大震災被害に対する緊急要望／主な議会の動静…………… P13
- 傍聴者の声／6月定例会の予定…………… P14

3.11 東日本大震災の犠牲者に対し黙祷・・・3/18 定例会最終日

3月11日に発生した東日本大震災により、道路、水道をはじめとした生活インフラや市民の皆様の財産に大きな被害を蒙りました。この震災により被災された皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

この未曾有の自然災害に対し、私たちは1日も早い復興を成し遂げなくてはなりません。今定例会で市長が施政方針の中で示された、「自助、共助、公助」というキーワードはまさに現在の状況を克服するための指針ではないかと思えます。

市民の皆様におかれましては、誠に変な状況ではあるうかと思えますが、地域の皆様で助け合い、支えあいながら頑張つて欲しいと思えます。また、私ども議会におきましては執行部と一丸となり、市民の皆様を全力でご支援していく所存であります。

銚田市議会議員一同

平成23年第1回定例会

〈本会議〉
3月8日

主な質疑

議案第10号

銚田市医療福祉費支給に関する条例の一部改正について

問

適用が7月からとなっておりますが、やはり4月から実施することが理想と思えますが、4月実施がで

きない理由はなぜか。

答

マル福については所得制限があり、事務的手続きとの兼ね合いで、6月に所得が確定しますので7月から開始となります。

議案第13号

銚田市子育て支援給付金条例の廃止について

答

少子化対策につきましては、第一義的には国の施策として行われることが重要であり、出産祝金という形の条例として残すことは現段階では考えていません。

問

現在の深刻な少子化社会を考えたときに、この条例を廃止するのではなく、他市町村でも実施されているような出産祝金として条例を残す考えはないか。

答

少子化対策につきましては、第一義的には国の施策として行われることが重要であり、出産祝金という形の条例として残すことは現段階では考えていません。

提出議案と審議結果

◎全員賛成
●賛成多数
●賛成少数
△継続審査

平成23年第1回銚田市議会臨時会

平成22年度補正予算

◎平成22年度銚田市一般会計補正予算(第9号)

その他

◎工事請負契約の変更について

平成23年第1回銚田市議会定例会

平成23年度予算

- 銚田市一般会計予算
- 銚田市国民健康保険特別会計予算
- 銚田市後期高齢者医療特別会計予算
- 銚田市介護保険特別会計予算
- 銚田市農業集落排水事業特別会計予算
- 銚田市公共下水道事業特別会計予算
- 銚田市旭区域水道事業会計予算
- 銚田市銚田区域水道事業会計予算
- 銚田市大洋区域水道事業会計予算

平成22年度補正予算

- 銚田市一般会計補正予算(第10号)
- 銚田市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- 銚田市老人保健特別会計補正予算(第2号)
- 銚田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
- 銚田市介護保険特別会計補正予算(第4号)
- 銚田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)
- 銚田市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)

議案第15号

鉦田市一般会計 補正予算(第10号)

問 とつぷ・さんて大洋との指定管理者契約について、年の途中で、経営資金が不足したという理由で増額補正を組めるような契約内容になっているのか伺います。

答 とつぷ・さんて大洋とほっとパーク鉦田の委託料については、経費の部分と施設の使用料収入を勘案

して委託料を算定していません。施設の使用料収入が低くなる、あるいは管理運営の経費が増額した場合には変更契約で委託料を増額することになっていきます。

議案第32号

鉦田市土地開発公社 の解散について

問 現在、公社が保有している土地、あるいはその他財産は何か残っていますか、また、財産が残っている場合、この処分は解散に伴ってどのような処理をするのか伺います。

答 現在公社が所有している財産は残余財産として、金額では23年1月末現在で883万7941円の現金があります。鉦田市土地開発公社定款第25条第2項によると、公社を解散した場合、債務を弁済してなお残余財産があるときは、鉦田市に帰属することになっており、そのように処理したいと思えます。

平成23年度 施政方針

『3月定例会では初日の執行部提案説明の中で、平成23年度の施政方針について市長からの説明がありました。』

【総論要旨】

- 新規施策に対し『あれかこれか』の『選択と集中』をキーワードとして、真に市民が望む『市民満足度の高い施策を優先して進めていくことが重要。』
- 平成23年度予算では、「小児医療福祉費の小学校6年生までの拡充」、「インフルエンザワクチン予防接種の中学生ま

- での一部公費負担」、「子宮頸がんワクチン予防接種の全額公費負担」、「ブックスタート事業」等の子育て期間中の保護者の方々の負担軽減へ政策転換をする。
- 地域の方から熱望された「新市連絡道路」を推進する。
- 事業の「選択と集中」を図り、「地域主権」に対応した自立した自治の確立を図る。
- 「個人でできることは、個人で解決する。個人でできないことは、地域で助け合って解決する。それでもできないことは行政が解決する。」といった自助、共助、公助の仕組みの確立を図る。

- 鉦田市旭区域水道事業会計補正予算(第4号)
- 鉦田市鉦田区域水道事業会計補正予算(第3号)
- 鉦田市大洋区域水道事業会計補正予算(第2号)

条例・規則の一部改正等

- 鉦田市医療福祉費支給に関する条例の一部改正について
- 鉦田市国民健康保険条例の一部改正について
- 鉦田市立学校給食センターの設置及び管理に関する条例の全部改正について
- 鉦田市子育て支援給付金条例の廃止について
- 鉦田市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

その他

- 訴えの提起について(4件)
- 市道路線の認定について(3件)
- 物品購入契約の締結について(3件)
- 工事請負契約の締結について
- 鹿行広域事務組合規約の変更について
- 鉦田市土地開発公社の解散について

人事

- 人権擁護委員の推薦について(常磐 富田 泰)
- 人権擁護委員の推薦について(荒地 生井澤 恭子)

請願

- △ 保育制度改革に関する意見書提出を求める請願書

討論(反対討論や賛成討論があった議案)

- 鉦田市一般会計予算
- 鉦田市国民健康保険特別会計予算
- 鉦田市一般会計補正予算(第10号)
- 鉦田市子育て支援給付金条例の廃止について

主な質疑

総論

問 市長の掲げた市民満足度の高い施策と地域主権に対応した施策について市民に説明し、理解を求めています。これらはどのようにして説明し、理解を求めているのか伺います。

答 市長はもとより職員一人一人にも趣旨を徹底させ、一市民として地域の集まりや友人の会合の中でこの理念を市民と共有していくことが必要であります。市民と行政が対等の立場で役割分担を認識し、同じ目標に向かってまちづくりを実践する、本来の意味での協働のまちづくりの仕組みを構築していきたいと考えています。

基本目標1
一人ひとりの健康と安全を支える地域づくり

問 銚田市では介護施設が不足し市民の要望に応

じ切れない状況にあります。特養ホーム、老人保健施設、グループホーム等入所待機者の解消に向けてどのような方針をお持ちなのか伺います。

答 入所待機者の多い特別養護老人ホームについては、50床増やしますが待機者解消までには至りませんが、引き続き整備を推進していきたく考えています。しかし施設が増えることは保険給付が増え、介護保険料の上昇も十分に考慮に入れなければなりません。その中で、待機者解消に向けた施設整備の推進を図っていきたく考えています。

基本目標2
次代の農業を中心とした力強い産業づくり

問 市場依存型の生産出荷形態から脱出し、農産物の価格安定や市内で付加価値を創出し、生産者及び地域経済への利潤還元を目指すための農産物加工施設への整備に向け、実施調査費を予算計上してありますが、23年度は具体

的にどのように進めていくのか、伺います。

答 ソフト面では、運営組織体制の検討、運営規模等の検討、製造技術確保の検討、さらには流通販路の検討などを計画しています。また、ハード面では、建設場所や導入設備の最終協議に入り、国庫補助等の協議もしながら予算確保の要望に努めたいと考えています。多くの生産者の方から期待の声も寄せられておりますので、ソフト、ハード面、両面で課題を解消するための検討、協議を進め、努力したいと考えています。

基本目標3
自然を感じる快適で安全な生活空間づくり

問 温室効果ガス排出抑制事業で、節電等の省エネの意識啓発を図るため、壁面緑化コンテストを開催するための予算を計上していますが、具体的にはどのように取り組まれるのか伺います。

答 各家庭において室内の温度上昇を抑制するた

めに、西日の当たる窓等にアサガオやゴーヤを利用した壁面の設置を促して、それによる節電に伴う温室効果ガスの排出抑制に努めていただく事業です。コンテストでは、アサガオやゴーヤを利用した壁面の写真を募集し、市役所のロビー等で展示コンテストを計画しています。

基本目標4
個性と多様性を尊び、地域文化をはぐくむ人づくり

問 赤ちゃんが言葉と心をはぐくむことを目的として、親が絵本を介して楽しく子育てができるきっかけをつくるために、ブックスタート事業を新規に実施するようですが、事業内容を伺いします。

答 この事業は、絵本を紹介して心触れ合うひとときを持つきっかけづくりなど、子育て支援の一環として実施するものです。具体的には、赤ちゃんとその保護者を対象に、保健センターで実施する乳児健診時に、市民ボラ

ンティアの方々の協力を得ながら絵本の読み聞かせを行うとともに、メッセージを伝えながら絵本などを贈るものです。

基本目標5
市民を主役とする協働のまちづくり

問 協働のまちづくり推進事業補助金を創設して進めていくのか伺います。

答 協働のまちづくり推進事業補助金は、市民み

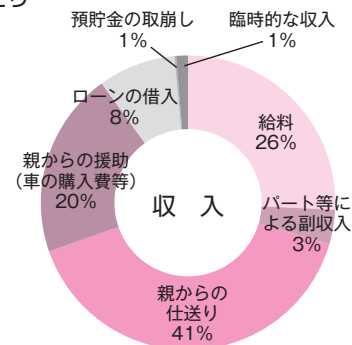
ずからの発想と行動によって地域の課題を解決する機運を高め、自主性のある市民活動と市民活動団体の自立を促進するための補助金として予算を計上しました。広報もしくは回覧板等で希望を募り、行政と市民とで構成する審査会において自主的かつ積極的にまちづくり活動を推進する団体や組織を選定し、予算の範囲内で対象事業を決定し補助金を交付します。

平成23年度 鉾田市一般会計予算について

平成23年度の市の予算について、一般家庭の家計簿に例えてみました
 ※家計については平成21年国民生活基礎調査（厚生労働省）から1世帯当たり
 平均所得金額5,475,000円と設定してみました。

○収入

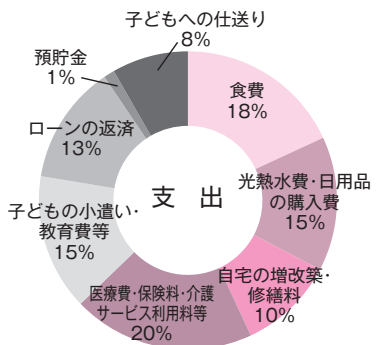
分類	家計	市の予算	
		家計	市の予算
給料	1,411,534	4,545,269	4,545,269
パート等による副収入	206,256	664,164	使用料及び手数料 117,637 分担金及び負担金 209,853 諸収入 336,674
親からの仕送り	2,194,969	7,068,000	地方交付税 6,300,000 地方消費税交付金 320,000 地方譲与税 295,000 自動車取得税交付金 60,000 地方特別交付金 40,000 利子割交付金 53,000
親からの援助（車の購入費等）	1,116,287	3,594,547	国庫支出金 2,251,602 県支出金 1,342,945
ローンの借入	465,111	1,497,700	市債 1,497,700
預貯金の取崩し	10,535	33,923	繰入金 33,923
臨時的な収入（預金の利息等、前年度の家計の剰余金）	70,308	226,397	繰越金 200,000 財産収入 26,397
合計	5,475,000	17,630,000	合計 17,630,000



収入における市の予算を一般家庭の家計簿に例えてみると、給料だけではまったく賅えず、親からの仕送り（国・県の補助）及び親からの援助に依存しています。そのほかにもローンの借入をして凌いでいます。

○支出

分類	家計	市の予算	
		家計	市の予算
食費	991,161	3,191,630	人件費 3,191,630
光熱水費・日用品の購入費	798,141	2,570,087	物件費 2,570,087
自宅の増改築・修繕料	568,594	1,830,925	維持補修費 114,851 普通建設事業費 1,715,023 災害復旧事業費 1,051
医療費・保険料・介護サービス利用料等	1,080,322	3,478,736	扶助費 3,478,736
子どもの小遣い・教育費等	810,388	2,609,524	補助費 2,498,324 投資及び出資金 111,200
ローンの返済	708,284	2,280,738	公債費 2,280,738
預貯金	64,829	208,754	積立金 175,260 貸付金 13,494 予備費 20,000
子どもへの仕送り	453,281	1,459,606	繰出金 1,459,606
合計	5,475,000	17,630,000	合計 17,630,000



支出における市の予算を一般家庭の家計簿に例えてみると、光熱費、自宅の改修費、医療費、子どもの教育費の割合が高くなっていて全体の過半数を占めており、食費を削ってやりくりしています。

平成23年度当初予算について

Q 鉾田市総合計画後期基本計画策定事業は大半が委託料ですが、これらについては住民の皆様の意見をどのように把握し、そして業者の方に委託してやっていくのか、または企画課でまとめていくのか、これらについてはどのような方針であるかについてお尋ねいたします。

A 総合計画後期基本計画策定事業は、大部分が委託料となっております。委託内容は、1つ基礎的調査、2つ後期基本計画の策定、3つ印刷原稿の策定、4つ委員会等運営支援業務、5つ調査研究費の費用を計上してございます。

Q 大洋総合支所改築事業の概要について伺います。

A 改築事業を行うことによって住民サービスの低下とならないように、現在の庁舎を維持しながら、第1段階として敷地の北側にある車庫2棟を撤去し、整地後、同場所に軽量鉄骨構造で平屋の庁舎を設置します。新庁舎完成後に、第2段階として現在の庁舎を解体、跡地は駐車場として活用します。

Q 難病患者福祉事業の福祉手当支給額が23年度予算は300万円の計上で、前年22年度の400万円の計上額と大きな差がありますがどういったことですか。

A 難病患者とその家族の労苦を見舞うとともに福祉の増進を図るために、難病患者福祉手当、1人2万円を平成20年度から支給しております。平成22年度当初予算では200人分の400万円を計上しましたが、

支給対象者を精査したところ、本市においては150人程度であることが判明したため、平成23年度予算は50人分を減額し、300万円の予算計上としました。

Q スポーツ振興事業費について、その内容を伺います。

A スポーツ大会の開催（卓球、テニス、バドミントン）における教室の費用、中学生関係の各種大会（軟式野球大会、卓球大会、剣道大会、柔道大会）開催の費用、各種団体（体育協会、スポーツ少年団）のスポーツ大会出場関係の補助、また、マラソン大会の実行委員会の補助として予算の計上をしています。

Q 市道12号線の事業の計画、全線開通の見通しの年度はいつごろになるのか伺います。また、巴川までの流末工事を23年度の中で実施をする計画になっているのか伺います。

A 本線については23年度に、流末排水路については24年度に完成予定となっております。なお、未改良区間については、平成17年度に不動産登記法の改正等があり、用地調査等の修正が必要なこと、また文化財の調査が必要なことなどの課題があるため、改めて地区説明会の必要性があることから、見通しがついた時点で国へ事業計画を申請し、予算確保に努めたいと考えています。また、青柳小学校付近の流末排水路の整備については、今後調査の実施や予算の確保など事業が推進できる体制を整えていきたいと考えています。

ここが聞きたい!!一般質問

13人の議員が一般質問

議員名	質問事項
倉川 陽好	(1) 道路の維持管理について (2) 住民基本台帳カードの現状について (3) 児童虐待防止法について (4) 合併特例債事業の今後の取り組みについて (5) 自営業者への融資対策について (6) 浄化槽の管理について
井川 茂樹	(1) 小学校の適正配置について (2) 給食センターについて (3) (仮称)文化複合施設建設について (4) 農産物のブランドについて (5) 家族経営の協定について (6) 郷土資料館について
飯塚幸右衛門	(1) 鉾田中央公民館の耐震補強について (2) 給食費の徴収について (3) 寄付について (4) 運動会での寸志について (5) ブランドアップについて
山口 徳	(1) 公立学校適正配置の今後の方針について (2) 畑田玄生地区への不法投棄について (3) 大洗鉾田水戸、一般廃棄物最終処分場について (4) ブランドアップについて
友部 政徳	(1) 小学校統廃合問題について (2) 子宮頸がんワクチンの接種助成について (3) 大相撲鉾田場所中止について (4) 高速増殖炉の問題について (5) 市道問題について (6) 障害者対策について (7) 一人暮らし高齢者対策について
米川 宗司	(1) 環境学習施設エコハウスについて (2) 市民の声を市政に (3) 学校給食について (4) 排水整備について (5) 地域公共交通について
高野 衛	(1) 防犯灯について (2) 火災報知機の設置について (3) 医療福祉制度(マル福)について (4) 農産物加工場について (5) 鉾田市総合計画について
水上美智子	(1) 農業問題について (2) 道路問題について
入江 晃	(1) 宅地の固定資産税について (2) バイクナンバプレートについて
小沼 俊秀	(1) 農業問題について (2) 道路問題について
小沼 幸義	(1) 宅地の固定資産税について (2) バイクナンバプレートについて

ホームページで
一般質問の会議録が
見られます

市のホームページで、本会議の会議録を公開しています。

- ①鉾田市のホームページへアクセスする。(アドレス <http://www.city.hokota.lg.jp>)
- ②市ガイド内の「鉾田市議会」をクリックする。
- ③会議録をクリックする。

なお、今定例会の会議録公開は、6月頃の予定です。本会議の会議録(「冊子」)は、市立図書館で閲覧できます。

道路維持管理

倉川 陽好 議員



問

道路の維持管理について、本市には国道、県道、市道や農道がありますが、それぞれの維持管理はどのようにしているのか、お尋ねします。

答

【建設部長】国道51号線は国土交通省が、国道354号線は茨城県が管理しております。国道51号線の維持管理については、国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所が策定した道路維持管理計画に基づき、鹿嶋国道出張所が実施しています。

要望

市内道路について危険箇所等の調査を行い、信号機の設置、歩道の整備する箇所を適宜把握し、計画を立てて整備していただきたい。

国道354号線や県道については、茨城県鉾田工事事務所が維持管理を実施しています。通常パトロール及び軽微な補修は茨城県道路公社へ委託。警報発生時の警戒パトロールは、道路維持修繕工事請負業者が実施しています。修繕については、苦情等の内容を勘案し、現場ごとに検討・対応し、道路維持修繕工事請負業者へ発注しています。さらに、市道及び法定外道路、いわゆる農道につきましては、市で維持管理を実施しています。

小学校の適正配置

井川茂樹 議員



問

小学校の適正配置について、在籍児童数・出生児童数が減少しているのが現実です。子供達のために速やかに、適当な規模の配置にすることが行政の役目です。23年度の計画について伺います。

答

【教育部長】現在、より良い教育環境の整備を図るための基本計画を策定するため、コンサルタントに業務委託し、提案をもらうと同時に、庁内からも意見を聴取しています。計画の策定に当たっては住民説明会を6月か

ら開催し、市民の皆様のご意見等を伺い、反映できる内容を取り入れさせていただきながら進めていきたいと考えています。

問

出生率から見れば、適正配置は早急に実行しなければならぬと思います。再度市長から統廃合に対するご意見を伺います。

答

【市長】この再編計画については長い期間、多くの皆さんの意見を拝聴しながら進められてきました。今回の答申を尊重し、住民の皆さんに説明会を開いて理解をいただく。要望があれば受け入れるものは受け入れるという形で今後進めたいと考えています。

(仮称)文化複合施設

飯塚幸右衛門 議員



問

事業スケジュールの中でパブリックコメントの実施、地区説明会の開催があります。何力所で行いますか。市長をはじめ役所より何名ぐらいで説明会に出席するのか、伺います。

答

【総務部長】説明会につきましては4地区、中学校区での説明会を計画しています。パブリックコメントにつきましては、市のホームページとあわせて市役所窓口での計画の閲覧、意見聴取も計画していきたいと考えてい

ます。

問

説明会には多くの市民に出席していただかなければならないと思います。多くの市民に出席していただいて、十分な話をするためには、十分なPRが必要かと思えます。参加していただくために、どのようなPRを考えているのか、伺います。

答

【総務部長】早い段階から市報とかインターネット等で周知を図り、多くの市民の皆さんに集まっていたいて、たくさん意見をいただくような時間がとれるように努めていきたいと考えています。

用語解説【パブリックコメント】(Public Comment、意見公募手続、意見提出制度)
公的な機関が規則などを定める前に、その影響が及ぶ対象者などの意見を事前に聴取し、その結果を反映させることによって、よりよい行政を目指すもの。

郷土資料館

山口 徳 議員



民館を利用して展示をしているところだ。

問

【教育委員長】 郷土資料館がありません。近隣には立派な資料館があり、またあけぼの館へ行ってみたら、施設が老朽化していても悲しいと若者が言っていましたか、どう思いますか。

問

過去から現代、そして未来を開くために、過去を学ぶことは重要だと思えます。銚田市に生まれ育つて地元の歴史を学ぶため、先人たちの足跡を示す資料館が必要だと思いますが、どう考えていますか、伺います。

答

【教育部長】 教育委員会では考古資料や民俗資料を展示する資料館は必要だと考えています。現在これらの資料を展示する施設として、銚田市文化財展示施設あけぼの館を初め旭公民館、大洋公

答

【教育長】 あけぼの館の活用については、暫定的に文化財を展示する場所として利用しているものと私は認識しています。今後は歴史館、郷土文化資料館、博物館等により、何らかの形で多くの人が目にする事ができる場所を整備する方向で考えていくことが良いのかなと考えています。

農産物ブランドアップ

方波見 和彦 議員



策と並行して販売量を確保していきたいと考えています。

問

加工品における原料の買い付けはどのぐらいの量の増加を目標としていますか。

また、1次加工製品の加工場の建設は、経営等の問題を考えれば、民間の加工場を活用したほうがよいのではないかとはいえますか。

答

【産業経済部長】 具体的な需要量の把握には至っていません。原料の買い付け量は、需要によって異なるので、原料の維持確保に当たっては、販路対策や流通対

問

直営で加工場をやる必要があるのか疑問ですがいかがか。

答

【産業経済部長】 加工場を直営でやることは公表していませんし、今の段階で直営でやるかについては未定です。今後、いろいろな方向性に関係機関と共に協議していきたいと思えます。

公立学校適正配置

友部 政徳 議員



問

【教育委員会】 市公立学校施設適正配置計画策定委員会は、現在20校ある市立小学校を中学校ごとの4校に再編することが望ましいと答申しています。学校建設とあわせ教職員の問題も統合をするに当たって大切なことだと思えます。早い時期から教職員の配置についても検討すべきと思いますが、考えを伺います。

答

【教育部長】 再編計画策定後の教職員の配置については、事前に県と十分な協議を重ねながら進めている

きたいと思っております。

問

【教育委員会】 前もって、教職員の配置の問題も進めていかなければならないと思うが、教育長のご意見は。

答

【教育長】 いくつかの学校をまとめるというところは、ご指摘のとおりです。教職員の配置問題については、県でも相当な関心を持っていて、どのような方向に動いているのかということや逐次情報を提供して、県と慎重に協議しながら、混乱が生じることが無いように、情報を共有して取り組んでいきたいと考えております。



一般廃棄物最終処分場（荒地地内）

米川 宗司 議員



問

【環境委員会】 この処分場は、平成24年の6月で終了する予定であり、残すところあと1年余りです。その後はどうするのか。ごみ減量化などにより、あと20年は継続可能ということだが、継続するならば地元地区に対する説明等どのように進めていくのか伺います。

答

【市民部長】 昨年8月に環境組合と市の生活環境課と、また、今年の2月には環境組合が荒地地区の区長にお会いをして、使用延長に

についてのお話をさせていただいていると伺っております。今後も環境組合を通じて荒地地区と協議を重ねていきたいと考えております。

問

【環境委員会】 地元地区には話したとの事だが、隣接の区長は何の話も聞いていないそうです。今後の事業の継続に当たり、地元隣接区の方が反対することもあると思うが、市では環境衛生組合に対してどのように指導するのか伺います。

答

【市民部長】 環境組合に対して地元区あるいは隣接区へ話をするように指導をしたいと思っております。

市道6・15号線（野友橋）

畠 長弘 議員



備を進めています。

また、平成23年度後半から道路整備に着手していきますが、構造物等の設置を優先しながら進めていく予定でいます。完成については、平成24年、25年度を目標に進めています。

問

市道6・15号線の通称野友橋について、その整備状況、現在の進捗状況、完成するまでにどのくらいの期間が必要なのか伺います。

答 【建設部長】市道6・15号線の、野友橋は既に完成しています。道路部については、平成22年度において地盤改良を予定しており、経費節減を図るためプレロード方式で対応いたしました。その結果、地盤沈下についてよい結果が出ましたので、現在3月末に仮開通を目指し、整

備を進めています。

問

完成後の利便性について、市長はどう思われますか。

答

【市長】行方方向からの交通の利便性が図られると思います。また、鉾田小川線の交差点は大変鋭角で事故が多発していましたが、道路整備により交通の安全につながると思っています。

用語解説【プレロード工法】

軟弱地盤対策工法の一つ。あらかじめ計画されている地盤に盛土などで荷重をかけて沈下を促進させる工法。

小学校統廃合問題

高野 衛 議員



をいただき進めてきた中での答申であると考えますので、現時点でのアンケート調査は考えていません。

問

答申が提出された後であっても、広く住民の声を聞いて基本計画をつくっていくという手順を踏むのが、民主的なやり方ではないかなと思います。いかが思われますか。

問

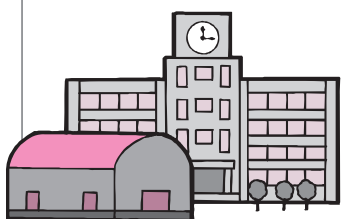
小学校統廃合については、市民の意見を伺いながら、時間をかけて、納得のいく計画にすべきと考えますが、いかがか。また、市民からのアンケート調査を行い民主的に進めるべきと考えますが、どの様に考えますか伺います。

答

【教育部長】今回の答申に至るまでには、平成19年度から総合的に調査、検討をしていただきました。また、それぞれの委員会においては多くの市民の皆様に参加

答

【教育長】最終的な結論が出ているわけではありませんが、答申いただいた内容は尊重しなければならぬと思っています。



環境学習施設（エコハウス）

水上 美智子 議員



問 エコハウスに隣接する野球練習場について、現在の場所を選定した理由について伺います。

答 【建設部長】 当該地は20年以上も前から下水道処理場及び公園用地として、国土交通省や地域の方との協議を重ねてきました。下水道処理場の整備に伴って、地域の方からの要望であった、多目的広場あるいは野球練習場を暫定的に整備しました。

問 エコハウスの内部からは四季を通じて野鳥の

観察ができるなど、とても素晴らしい施設であります。しかし、隣接する湿地を埋め立てて野球のバックネットがつくられています。一市民として、どうしても理解しがたいです。エコハウス周辺の自然環境は回復させるべきと考えますが、どのように思いますか。

答 【市長】 処理場建設に当たり、地元の要望を優先すべきと考え、現在の状況のようになったことはご理解を願います。ただ、野鳥の保護及び周辺環境のことに关しては地元の方との話し合いもしなければならぬと思えますし、我々だけで簡単にできることではないのかなと思えます。

医療福祉制度（マル福）

入江 晃 議員



問 医療福祉制度（マル福）について、22年第3回定例会での一般質問において提案要望を致しました。

昨年10月より、茨城県は小学校3年生まで充実したばかりなのに、鉾田市においては中学校3年生まで拡充できないかと、大変無理なお願いをいたしました。「厳しい財政状況なので、県に要望してまいります」との市民部長の答弁でしたが、平成23年度の予算では、小児医療福祉費の小学校6年生までの拡充がなされており、

大変ありがたく思います。予算の執行について、いつから小学校6年生までが制度の対象になるのかを伺います。

答 【市民部長】 小学校6年生まで引き上げるよう予算計上をしましたが、そのスタート時期については、本年の7月1日から行う予定です。

要望 医療福祉制度を中学校3年生まで適用して欲しいと考えます。



農地集約の取組

小沼 俊 秀 議員



問

現在、本市の農業従事者の高齢化が進み、農業人口が減少しつつあります。また、農業後継者の担い手不足が一層深刻化しています。このままでは、本市の基幹産業である農業が成り立たなくなる可能性もあります。

本市の農地は、区画が狭く、点在していて、作業ロスが大きく、農地を集約して低コスト化を図り、効率的な農業生産基盤をつくるのが大きな課題であり、また、TPPなどの農業政策の変化にも対応

できる生産基盤をつくること
が重要だと思えます。農地の
集約の取り組みの考えはある
のか伺います。

答

【産業経済部長】農地の集約については、土地改良事業の基盤整備による農地の集約、さらには耕作放棄地を再生利用しての農地利用権設定による集約等があります。本市としては、現在耕作放棄地解消のための再生作業や土壌改良などの推進、また農地の利用権設定による農地利用集約の推進を進めているところですが、今後も引き続き農用地利用集約事業や耕作放棄地再生利用に関する制度、施策の啓発普及に努め、事業を推進していきたいと考えます。

宅地の固定資産税

小沼 幸 義 議員



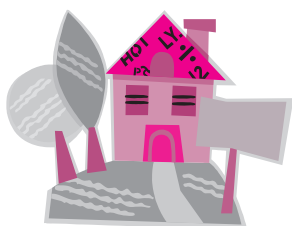
問

リーマンショック以降の急激な円高による景気低迷は一般家庭においても深刻で、収入が激減しており、税の負担が重く家計を圧迫しています。建物などは古くなれば固定資産税は安くなりませんが、宅地においてはどのように税をかけているのですか。また、不動産価格が低迷している中において、宅地の評価額はどのように算出し課税しているのか伺います。

答

【市民部長】宅地を初めてした固定資産税の評

価は、固定資産税に係る総務大臣の任務として、地方税法に規定する固定資産評価基準により評価をしなければなりません。宅地の評価方法の概略については、「市街地宅地評価法」いわゆる「路線価方式」と、その他の「宅地評価法」による「標準宅地比率方式」の2つがあり、いずれも国の地価公示価格、県の地価調査価格、それと市の標準宅地の不動産鑑定価格などの7割と評価額を求め、それに基づいて課税をしています。



東日本大震災被害に対する緊急要望

去る4月6日に
農林水産省・厚生労働省を訪問し、
緊急要望書を提出しました。



●農林水産省、筒井副大臣に農家の窮状を説明



●厚生労働省、岡本大臣政務官へ要望書を提出

3月11日に発生した東日本大震災に起因する農作物の風評被害により農業を基幹産業とする本市は重大なダメージを受けています。

この風評被害に対して、議会では全員協議会で対策を講じた結果、国に対して要望書を提出することに全員一致で決定しました。

これを受け、去る4月6日に農林水産大臣及び厚生労働大臣あてに緊急要望書を提出し、風評被害に対する万全の対処をお願いいたしました。

主な議会の動静

2月

3日 平成23年第1回臨時議会運営委員会

〃 議会運営委員会

〃 全員協議会

23日 議会運営委員会

3月

1日 平成23年第1回定例会

18日 全員協議会

3日 茨城空港利活用に関する調査特別委員会

4日 議会広報編集委員会

8日 議会運営委員会

10日 原子力施設の安全に関する調査特別委員会

11日 厚生文教常任委員会

14日 全員協議会

14日 経済建設常任委員会

14日 総務企画常任委員会

29日 全員協議会

4月

6日 東日本大震災に関する緊急要望活動

14日 (農林水産省ほか)

25日 (東京電力来庁)

〃 議会広報編集委員会



傍聴者の声



子生区長 藤 茂 樹
皆

昨年から区長になり、議会定例会の度に傍聴してきました。今回もそれぞれの議員さんが、農業・小学校適正配置・道路・福祉・生活環境・公共施設など市政全般にわたり質問を行い、いかにして本市を生き生きと発展させて行くか真剣な議論がされている事がわかりました。

少子高齢化で人口が減少する中、議会には今後とも行政に対し政策提言やチェックを行い、そして改革を進めより良い銚田市となるよう期待いたします。

6月定例会日程(予定)のお知らせ

月 日	会議内容
5月30日(月)	本会議閉会
6月1日(水)	委員会
6月2日(木)	委員会
6月3日(金)	委員会
6月7日(火)	一般質問
6月8日(水)	一般質問
6月10日(金)	本会議閉会

※日程は変更になる場合があります。

平成23年第1回(3月)定例会の延傍聴者数 64名

編集後記

東日本大震災で、被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます。開催が心配された入学式で、子どもたちの姿を見て、この子たちの未来のためにも何としても復興しなければならぬと思いました。

水洗トイレは水がなければ使えない。ファンヒーターは灯油があっても電気がなければ使えない。便利になってしまったがゆえに、感じた現代の落とし穴。他にも unnecessary ライトアップや看板の照明、24時間営業のコンビニやテレビの深夜放送、季節感のない果物や野菜の栽培、休む時に休まなくなってしまう弊害です。もう一度生活を見直すべきだと思います。この夏の計画停電を回避するために、自動販売機やパチンコ屋さんが取りざたされていますが、まずは身近な家庭から始めましょう。

(方波見 和彦 記)

委員長 水上美智子
副委員長 方波見和彦
委員 小沼 幸義 菅谷 達男
山口 徳 栗田 洋